

鈴与システムテクノロジー株式会社は PC システムの BCP リスクと管理の複雑さを減らすことに成功

顧客

鈴与システムテクノロジー株式会社
(SST)

課題

SST は 2 つの業務上の問題を解決する必要があった:

- ・ 静岡県で起こりうる巨大地震に対する BCP 対応
- ・ 300 台以上の PC の場合、スタッフの異動時の PC 管理の効率化 どちらも長い間 SST の重要な懸案でした。

ソリューション

SST と Hiscom が共同でこの問題に取り組む、Infotrend の ESDS S16F-R2850 G7 モデルを採用した先進的な Thin Client を使うことで解決しました。SST は、市場において Thin Client を使ったシステムの構築力と長年の運用経験を評価に使用しました。そして、Hiscom をこのプロジェクトのパートナーとして選びました。というのも Hiscom は、双方とも持っていたからです。

Hiscom Co., Ltd と協力して Infotrend の EonStor DS G7 ソリューションを用いた Thin Client システムを利用

Suzuyo System Technology Co., Ltd (以下、Suzuyo System Technology または SST と記述) は、鈴与グループの情報システム子会社です。同グループは、1801 年から世界各地で事業を行い、国内外に 140 社の関連会社を保有しています。SST は、情報システムの開発と稼働と保守をアウトソーシングするプロジェクトに特化しています。SST は、常に高いレベルのサービスと顧客満足に主眼を置いています。

課題: 個々の PC システムをカバーし、全社の PC 管理の効率を高めるような災害復旧戦略を策定すること

Suzuyo System Technology は、静岡県にあるため、災害復旧計画を策定する際、近い将来大地震が発生する可能性が高いことが最優先事項の一つです。SST は、災害復旧対策として災害復旧用サーバーを既に東京に設置しています。しかし、個々の PC の災害復旧計画は、まだできていませんでした。このため、パンデミック発生の際や予期せぬ災害が発生した場合、特定のオフィスが閉鎖されると、その従業員が利用している業務 PC にアクセスできなくなります。また、システム開発事業が成長し、多くの従業員と PC がチームに参加した際、その PC の効率的な管理も要求されました。SST は、300 台以上の従業員用 PC を管理し、それらを協力して稼働させる必要がありました。PC 管理に必要なシステムリソースは多大で、SST では、それらを効率的に解決しなければならませんでした。

課題の解決策: 市場でシステム開発の経験豊富な Hiscom とともに Thin Client ソリューションを実装する

Suzuyo System Technology が PC の災害復旧計画の必要性に気付いたとき、デスクトップの仮想化が大きな課題でした。高度のセキュリティをシステム上で保証しながら、使いやすさを改善し、多くの PC 管理業務をこなすことは、SST にとって別の面での苦痛でもありました。

Hiscom は、SST に Thin Client システムの共同開発を提案しました。そのシステムでは、仮想環境の管理業務が簡単になり、ネットワーク帯域幅が十分で無い場合でも、携帯端末からのアクセス速度が保証できます。

SST は、Infotrend の EonStor DS S16F-R2850 G7 シリーズを使っていました。優れた IOPS とスループットを持ち、その性能は通常ストレージ基盤として使われる中級 RAID ストレージを超越していました。ESDS S16F-R2850 G7 は、重要な業務アプリケーションで使われています。また、VMware を使うことで、仮想化環境を構築でき、電力コストやスペースコストを削減し、豊富なインストールベースを提供できます。

Hiscom は、VMware を使った Thin Client システムを自社内に導入しています。そして、顧客と共に、Thin Client システムを構築し稼働するためのパートナーとしてよく知られています。

高可用性 SAN 環境で将来のストレージ性能増加要件に応える

データの可用性を改善するため、Infotrend の ESDS S16F-R2850 は、RAID コントローラ、電源、冷却ファンを冗長化して高可用性環境で稼働するよう設計されています - 全てを冗長化しています。700K の IOPS という高性能と必要に応じて 240 台の HDD まで搭載できる柔軟な拡張性を備えています。

簡単な管理機能によって開発と稼働にかかる時間を削減可能

SST は、Hiscom と Thin Client システムの構築に向けた協働プロジェクトチームを発足させました。チームは、安全管理のためスマートカードを実装し、Hiscom は、チームのため、VDI と VPN の管理を行いました。Thin Client システムを構築した結果、PC の災害復旧対策は 90%完了し、PC 管理作業にかかる時間の削減については、80%完了しました。

PC の災害復旧対策は、ネットワーク経由で仮想デスクトップが使えるようになったため、携帯端末や遠隔業務にも対応できるようになりました。将来的には、他のグループ企業にも拡大する予定です。

SST は、国内外を含めて、様々な物流やサプライチェーンに対して、Suzuyo グループのノウハウを使ったシステムソリューションを提供します。SST は会計・人事などの経営管理システムから、官公庁、教育、スポーツ分野の事務システムまでをカバーします。SST は、その先進的なシステム開発力によって、高い評価を得ています。

Suzuyo System Technology Co., Ltd (SST) について

Suzuyo System Technology Co., Ltd (SST) は、Suzuyo グループに属する IT 企業です。SST は、Suzuyo の本社のある静岡県静岡市にあります。Suzuyo グループは、1801 年に日本で設立され、世界中に 140 社のグループ企業があります。Suzuyo の本業は、国際航空貨物、海上輸送、倉庫、物流です。

IT ソリューションプロバイダーとして SST は、システム開発からアウトソーシングまで IT ライフサイクルの全てのフェーズにおいて最適なサービスを提供します。SST は、Suzuyo グループと市場での顧客に対して、システムを構築する技術と経験を持っています。

SST は、システムの構築、パッケージソリューション、アウトソーシング、およびメディア作品サービスを提供します。